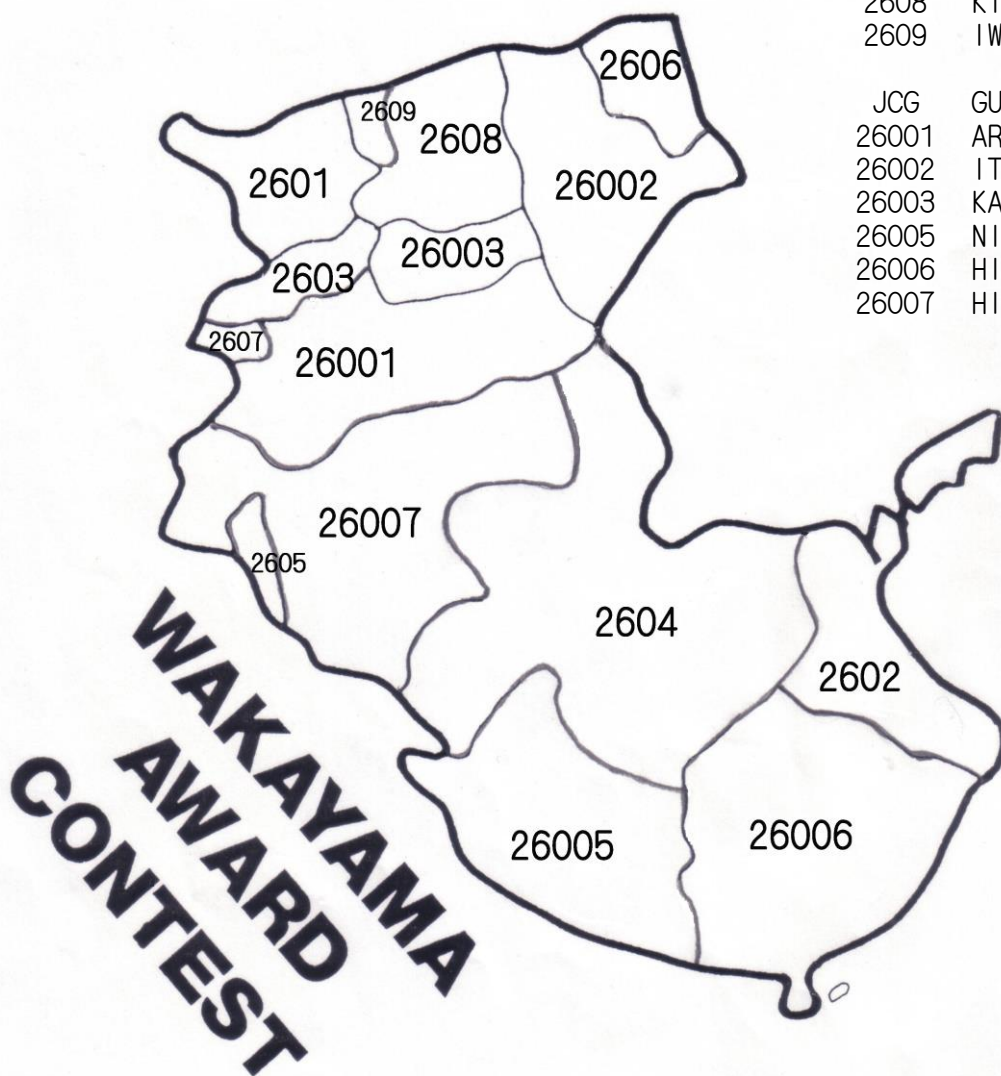


和歌山県支部報

2012. 2

JCC	CITY
2601	WAKAYAMA
2602	SHINGU
2603	KAINAN
2604	TANABE
2605	GOBOU
2606	HASIMOTO
2607	ARIDA
2608	KINOKAWA
2609	IWADE

JCG	GUN
26001	ARIDA
26002	ITO
26003	KAI SOU
26005	NISIMURO
26006	HIGASIMURO
26007	HIDAKA



支部報告・ハムの集いのご案内

JARL 和歌山県支部

日 時 平成24年2月1日(日)

10:00ハムの集い 13:00支部大会

場 所 東部コミュニティーセンター 2F

和歌山市寺内 665 番地



平成24年度JARL和歌山県支部大会

- (1) 開会の辞
- (2) 支部長挨拶
- (3) 来賓挨拶
- (4) 平成21年度行事報告・同決算報告
- (5) 平成23年度中間報告・同決算報告
- (6) 平成24年度行事計画・同予算説明
- (7) 監査指導委員長現状報告
- (8) 和歌山アワード発行状況報告
- (9) 非常通信訓練結果報告
- (10) 意見交換 その他
- (11) 閉会の辞

ごあいさつ

JARL 和歌山県支部 支部長 JA3EQC 廣井 五十二

平素は支部活動に、ご理解とご支援をいただきありがとうございます。

去年は、いろいろなことがありました。3月の東北大震災、また和歌山県にありまして台風12号により、大きな災害をもたらしました。被害にあわれました方々には、お見舞い申し上げますと共に、まだ発展途上ではありますが、今後とも防災に対する社会活動には参加してまいります。また、連盟におきましては、ご承知の通り11月1日より一般社団法人となりました。紆余曲折の結果ではありますが、これを機会に連盟の新たな発展を願うものの一人です。しかしながら先ずは負の遺産とも言うべき諸問題に対応していかなばなりません。和歌山県からは合計三名の新しい制度に於ける社員が選出されましたが、私もその一人として、従来の総会に代わるパイプ役にならねばなりません。いずれにせよ皆様方のご協力なくして、新法人の良き将来は望めません。今後ともよろしくご協力をお願い申し上げる次第です。

いつも申し上げていることではありますが、JARLの本来の姿は同じ趣味を持つ者の楽しみ場です。先人たちが蕎麦屋の二階でハム談義に花を咲かせていたことと同じように、時代と共に形こそ多少は変化してはまいります。本質は趣味を楽しむためのJARLとして、支部は地域、地域に合った活動を進めてゆきたいと存じます。

和歌山県でも、V/Uの新たなネットワークグループができ、太陽黒点数SSNも予測では年末には170程度になると報じられております。今年こそ積極的に無線を楽しむ年といたしたいものです。皆様のご活躍を願っております。

和歌山アワード規程

2010-1-1 現在

下記のように和歌山県内の市郡町村から各1枚のQSLカードを取得する。

1. Excellent 賞 30市町村
2. A賞 9市
3. B賞 6郡
4. C賞 20町
5. D賞 1村

特記 : シングルバンド・シングルモードのみ特記する。

申請方法 : JARL 制定のアワード申請書およびカードリストを使用し、手数料を添えて申請すること。

SWL および外国局にも発行する。

(申請者の自己申告のみで良く、証明者は必要としない)

また、和歌山コンテストにおいて当該市郡町村と QSO したが、その QSL カードを取得出来ない場合、事実関係をコンテスト委員会が確認出来るものについては当該 QSO を認めるので申請先へ問い合わせること。

但し、最近の5年以内に限る。(5年経過後は JARL 文書管理規定で廃棄のため)

手数料 : 郵便小為替にて1賞のみは500円。

複数賞を同時に申請する場合は2賞目以降の1賞につき300円ずつ加算する。

外国局は1賞につき5IRCとする。

その他 : 市町村名の変更や増減が行なわれた場合は、それらの施行日を以って本規定も改定されたものとする。

: 申請者が移動して運用した場合は、その移動の範囲は、同一コールエリア内とする。

: 和歌山アワードは平成22年1月1日よりの受付分から、クラス別の新デザインです。

申請先 : 〒641-8691 和歌山南郵便局私書箱1号 JARL 和歌山県支部アワード係

問合せ先 : 申請先に同じ (SASEに限る)

電子メールの場合は、 jr3eqg@jarl.com または ja3eqc@jarl.com

発行者 : JARL 和歌山県支部

『和歌山アワード規定』に述べている、現存する和歌山県内の市郡町村とは下記の通りです。

【市】 和歌山市 : 新宮市 海南市 田辺市 御坊市 橋本市 有田市 紀の川市 岩出市

【町】 有田郡 : 広川町 湯浅町 有田川町

伊都郡 : 九度山町 かつらぎ町 高野町

海草郡 : 紀美野町

西牟婁郡 : 上富田町 白浜町 すさみ町

東牟婁郡 : 古座川町 太地町 那智勝浦町 串本町

日高郡 : みなべ町 由良町 印南町 日高町 美浜町 日高川町

【村】 東牟婁郡 : 北山村

今後も引き続いて平成の合併が予定されていますが、これに伴う和歌山アワードの申請条件を下記の通り明確にしておきます。

JARL 発行の WACA および WAGA 方式を採用します。 即ち、各賞毎に最終交信時点において現存する市・郡・町・村を有効とし、消滅した市・郡・町・村は無効とする。

また、申請に際して JARL が制定している市・郡番号(JCC および JCG ナンバー)を使用することは差支えないが、ハムログなどが制定している町・村番号・記号は JARL として認めていないので、町・村名をその併記入して下さい。

J A R L 和歌山県支部「ハムの集い・支部大会」に寄せて

J A R L 関西地方本部長 J A 3 H X J 長谷川 了彦

公益三法施行を機に、5年10箇月をかけ熱心な議論を重ねてきた J A R L ですが、昨年11月1日、「一般社団法人日本アマチュア無線連盟」として新しい組織のスタートを切りました。

名古屋総会で認められなかった定款改正議案は、その後修正されたものが臨時総会で承認され、最後の総会が大阪池田市で開催されました。

41年間会長を務めた前会長の退任が決まり、9月には新しい組織を形作る核をなす代表社員(134名)が選ばれました。ただ、岡山・栃木・山口・福井各県からは立候補がなく、地方本部長推薦の支部長が選ばれましたが、岡山県においてはいまだにその候補者選びが難航している事実は大変大きな問題として残ります。

新組織となった J A R L はこの度、J A 5 M G 稲毛氏を会長に選び、新たに動き出しましたが、J A R L の未来は困難な課題が山積みされています。この解決に果敢に取り組み、一つずつ解決してゆくしか選択の余地はありません。

これまであまりにも情報公開が遅れ、理事会の動きや組織がどこに進もうとしているのか明確でない運営はこの機会に終止符を打たねばなりません。

最大の課題として財政の健全化があります。最後となった大阪池田市での総会で皆様に約束したことは、平成26年度までに J A R L 会計の収支バランスを図ることです。この目標がいよいよ現実味を帯び、理事者は相当な決意をもって挑まなければなりません。

これらを達成させるのは当然ですが、この他にもいくつかの必須課題があります。その一つが、会費前納会員の扱いについて結論を導くことです。求める答えは会員としての身分を保証することは最低限の約束として、なにがしかの負担をお願いすることを視野にいたしたものです。

さて、最近気になる J A R L 会員の減少ですが、他のエリアで会員を減らしている中で、ただ一つ関西だけは会員数を増やし元気な現実を示しています。

これは、恒例となった各々の支部活動を始め、「関西アマチュア無線フェスティバル」に象徴される真のアマチュアの楽しみ方を見出しながらこれらを実践し、青少年の育成に力を注いでいる姿が背景にあります。その源はこれらを支える皆様の努力に他なりません。

所詮遊びの団体といわれる J A R L ですが、その改革を実行するには遊びの範疇を超えた知恵と意気込みを忘れてはなりません。

今後はこれまでと異なった運営になる J A R L ですが、会員皆様の声がこれまで以上に届く組織を作りたいと思っています。

遠慮なくどんどんご意見をお寄せいただき、社会に通用するアマチュア無線の組織作りにご協力いただければこれ以上の喜びはありません。

平成 23 年度監査指導報告

JARL 和歌山県支部 監査指導委員長 JA3DFO/小林嘉弘



JARL 和歌山県支部の皆様には日頃から当監査指導にご理解とご協力をいただき有り難う御座います。

県支部では、監査指導委員によるアマチュア無線の適正な運用に関して違反局の報告を四半期にまとめJARL 関西本部を経てJARL 本部そして総合通信局に提出されています。

総合通信局等に寄せられる業務無線などの違反申告の半数以上はアマチュア無線に関わるものが目立っています。アマチュア無線の申告で多いのは、周波数区分違反、コールサインの不送出、周波数の独占、業務（仕事）に関する通信の苦情と取り締まりの要求です。

公共の資産である電波を使っているアマチュア無線家のより適正な運用を心がけが必要ではないでしょうか。

平成 22 年度監査指導報告の一部です。

区分	144MHz	430MHz	計
アマチュアバンドプランを守らない	30	75	106
通信事項	5	6	11
呼出符号の不送出	86	147	147

電波法 第 5 章 運用（運用等）第 80 条について

第 80 条 2 項に次のように書かれています。この法律又はこの法律に基づく命令の規定に違反して運用した無線局を認めるとき総務省令で定める手続きにより総務大臣に報告をしなければならない。と報告の義務が規定されています。

違反局を認めた場合は、その概要と特定した事実を電話でなくハガキで結構ですから文書で総務省に提出してください。

コールサインは世界で唯 1 人あなただけに使用が認められた ID です
もっと大切に、プライドをもって使用しましょう。

JARL 和歌山県支部監査指導委員会

平成23年度JARL和歌山県支部非常通信訓練結果報告

実施日時 : 平成23年9月11日(日) 13:00~15:00

参加局 : 12局(内LOG提出局8局)

1	JA3CHT/3	LOG	日高郡美浜町西山
2	JA3LCR		橋本市
3	JA3PNG		紀の川市
4	JE3QZV		紀の川市
5	JF3NIM/3	LOG	海南市長峰山頂
6	JF3QUE/3	LOG	御坊市北塩屋
7	JH3UPQ/3	LOG	岩出市根来(SL公園)
8	JH3YCD/3	LOG	海草郡紀美野町(ふれあい公園)
9	JO3PYF/3		和歌山市加太
10	JO3VUQ	LOG	海南市下津町塩津
11	JP3KLJ/3	LOG	和歌山市加太
12	JR3UHK/3	LOG	海草郡紀美野町神野市場

平成23年度の非常通信訓練結果について

本年は9月3日から9月4日にかけての台風12号により紀南地方に甚大な洪水災害を受けまして被災された方にお見舞い申しあげますと共に亡くなられた方のご冥福をお祈り申し上げます。

非常通信訓練が行われた9月11日は那智勝浦町へ災害復旧ボランティア活動に参りまして不参加になりました事をお詫び申しあげます。

今回の台風による洪水災害を省みますと那智勝浦町的那智川沿いの鉄砲水や太田川沿いの増水、熊野川沿いの増水等余りにも予想を超える規模の出水がありました。特に熊野川町の日足地区においては地表20m近くに達したところもあったと伺っています。

この増水と土砂崩れにより道路は尽く寸断され、電話や携帯などの通信手段も無くなり現地の状況が全くわからない状態でした。三重県側にレピータが設置されたのは、ずっと後でそれまでの間アマチュア無線による通信が行われたかは、わかりませんが、携帯や電話の不通に加え停電や車両の水没など通信手段が全く絶たれていたものと推測されます。

東日本大震災を受け、来る東海・東南海・南海地震の3連動では従来想定の2倍という津波高さの想定が今年の8月頃に出されると思われませんが、まず直後の身の安全、防寒、照明、飲料水、食料など最小限の自助努力の上、非常通信による公共の福祉に貢献できる様今一度今回の水害を振り返り、考える機会を与えられたと一年でした。

今年は大過無く過ごせる一年でありますように！

非常通信委員長 JR3KUF 池上和彦

平成22年度支部費決算報告

平成22年4月1日～平成23年3月31日

科 目	金 額	備 考
前期繰越高	¥87,952	
《収入の部》		
支部費	¥300,000	
賞典収入	¥12,420	和歌山アワード
雑収入		
受取利息	¥36	
計	¥312,456	
《支出の部》		
支部大会費	¥ -	
会議費	¥25,600	運営委員会・クラブ代表者会議・部屋使用料等
催物費	¥161,166	ハムの集いと会場費・関西ハム・記念局運用・テクニカル講座ほか
渉外費	¥ -	
通信費	¥500	切手代
交通費	¥12,500	非常通信・防災会議連絡会等
消耗品費	¥ -	
支部発行費	¥30,000	コピー機トナー代金・コピー用紙等
事務印刷費	¥ -	
コンテスト費	¥47,025	賞品代・送料代等
賞典費	¥ -	
非常通信費	¥ -	
雑費	¥7,000	後藤家ご香料
計	¥283,791	
次期繰越高	¥116,617	

平成23年度支部費中間報告

平成23年4月1日～平成23年12月31日

科 目	金 額	備 考
前期繰越高	¥116,617	
支部費	¥300,000	
賞典収入	¥ -	
受取利息	¥15	
計	¥300,015	
《支出の部》		
支部大会費	¥ -	
会議費	¥11,300	運営委員会・クラブ代表者会議・部屋使用料等
催物費	¥28,650	ハムの集いと会場費・関西ハム・記念局運用・テクニカル講座ほか
渉外費	¥ -	
通信費	¥390	切手代
交通費	¥1,300	支部運営委員会
消耗品費	¥ -	
支部発行費	¥ -	
事務印刷費	¥ -	
コンテスト費	¥ -	
賞典費	¥ -	
非常通信費	¥ -	
監査指導費	¥ -	
雑費	¥7,700	電波利用料・8J3XVI機器返却
計	¥49,340	
残 高	¥367,292	

平成22年度支部行事報告

平成22年4月1日～平成23年3月31日

日付	行 事 項 目
平成22年 4月4日	第22回和歌山コンテスト
5月16日	支部運営委員会・クラブ代表者会議
5月30日	第52回通常総会（名古屋市）
6月27日	8N3XV 和歌山県内運用（紀ノ川市）
7月11日	支部運営委員会・クラブ代表者会議
7月17日18日	関西アマチュア無線フェスティバル（池田市）
7月25日	第2回オール和歌山移動デー
8月22日	CW・DXミーティング
8月29日	紀ノ川市総合防災訓練
9月5日	第14回和歌山県非常通信訓練
9月12日	和歌山県総合防災訓練
10月17日	フィールドミーティング（関西地方本部主催）
11月7日	テクニカル講座
11月21日	JARJ臨時総会（寝屋川市）
11月28日	支部運営委員会・クラブ代表者会議
12月11日	関西年末ハムの集い
平成23年 1月15日	ハムの集い準備ミーティング
1月～2月	ガイダンス局の運用
2月6日	和歌山県支部ハムの集い
3月27日	21-4 支部運営委員会・クラブ代表者会議

平成23年度・支部行事中間報告

平成23年4月1日～平成24年2月5日

日付	行 事 項 目
平成23年 4月3日	第23回和歌山コンテスト 中止
5月15日	支部運営委員会・クラブ代表者会議
5月29日	第52回通常総会（池田市）
5月21・22日	8N3XVI 和歌山県内運用（紀ノ川市・橋本市）
7月10日	支部運営委員会・クラブ代表者会議
7月16～17日	関西アマチュア無線フェスティバル（池田市）
7月24日	第3回オール和歌山移動デー
8月21日	CW・DXミーティング
8月29日	紀ノ川市総合防災訓練
9月5日	和歌山県総合防災訓練 海南市 中止
9月11日	第14回和歌山県非常通信訓練
10月16日	フィールドミーティング（関西地方本部主催）
11月6日	テクニカル講座 中止
11月27日	支部運営委員会・クラブ代表者会議
12月10日	関西年末ハムの集い
平成24年 1月14日	ハムの集い準備ミーティング
1月～2月	ガイダンス局の運用
2月5日	和歌山県支部ハムの集い
3月26日	支部運営委員会・クラブ代表者会議

平成24年度支部予算（案）

			平成24年1月14日
科 目	24年度予算(案)	23年度予算	前年度比
《収入の部》			
支 部 費	¥300,000	¥300,000	¥ -
賞 典 収 入	¥2,000	¥2,000	¥ -
雑 収	¥ -	¥ -	¥ -
受 取 利 息	¥ -	¥ -	¥ -
計	¥302,000	¥302,000	¥ -
《支出の部》			
支 部 大 会 費	¥ -	¥ -	¥ -
会 議 費	¥30,000	¥30,000	¥ -
催 物 費	¥140,000	¥140,000	¥ -
渉 外 費	¥ -	¥ -	¥ -
通 信 費	¥6,000	¥6,000	¥ -
交 通 費	¥30,000	¥30,000	¥ -
消 耗 品 費	¥ -	¥ -	¥ -
支 部 発 行 費	¥32,000	¥32,000	¥ -
事 務 印 刷 費	¥ -	¥ -	¥ -
コ ン テ ス ト 費	¥40,000	¥40,000	¥ -
賞 典 費	¥ -	¥ -	¥ -
非 常 通 信 費	¥20,000	¥20,000	¥ -
監 査 指 導 費	¥ -	¥ -	¥ -
雑 費	¥4,000	¥4,000	¥ -
計	¥302,000	¥302,000	¥ -

平成24年度支部行事計画（案）

平成23年4月1日～平成24年3月31日

日 付	行 事 項 目
平成23年 4月1日	第24回和歌山コンテスト
6月10日	支部運営委員会・クラブ代表者会議
6月24日	第1回定時社員総会（東京）
6月～7月	関ハム記念局 和歌山県内運用（予定）
7月8日	支部運営委員会・クラブ代表者会議
7月15・16日	関西アマチュア無線フェスティバル（池田市）
7月29日	第4回オール和歌山移動デー
8月19日	CW・DXミーティング
8月26日	紀ノ川市総合防災訓練
9月9日	第16回和歌山県非常通信訓練
9月	和歌山県総合防災訓練 日程は未決定
10月14日	フィールドミーティング（関西地方本部主催）
11月4日	テクニカル講座
11月25日	支部運営委員会・クラブ代表者会議
12月8日	関西年末ハムの集い
平成24年 1月14日	ハムの集い準備ミーティング
1月～2月	ガイダンス局の運用 日程は未決定
2月3日	和歌山県支部ハムの集い
3月31日	支部運営委員会・クラブ代表者会議

第24回和歌山コンテスト

日時 4月1日(日)09:00~21:00JST

参加資格 日本国内のアマチュア無線局およびSWL

部門 N=和歌山県内の部 G=和歌山県外の部 S=SWLの部

種目・コード・使用バンド 下記一覧表のとおり

	和歌山県内		和歌山県外	
	電信	電信電話	電信	電信電話
★個人局の部				
1.9MHz シングルバンド	NC1.9	—————	GC1.9	—————
3.5MHz シングルバンド	NC3.5	NX3.5	GC3.5	GX3.5
7MHz シングルバンド	NC7	NX7	GC7	GX7
14MHz シングルバンド	NC14	NX14	GC14	GX14
21MHz シングルバンド	NC21	NX21	GC21	GX21
28MHz シングルバンド	NC28	NX28	GC28	GX28
HF (1.9~28MHz) マルチバンド	NCHF	NXHF	GCHF	GXHF
50MHz シングルバンド	NC50	NX50	GC50	GX50
144MHz シングルバンド	NC144	NX144	GC144	GX144
430MHz シングルバンド	NC430	NX430	GC430	GX430
1200MHz シングルバンド	NC1200	NX1200	GC1200	GX1200
V・U (50~1200MHz) マルチバンド	NCVU	NXVU	GCVU	GXVU
★社団の部				
マルチバンド電信・電話	—————	NXMA	—————	GXMA
★SWLの部				
マルチバンド電信・電話	SWL (和歌山県内・外共通)			

周波数区分 JARL 主催コンテスト使用周波数帯を適応。

1.9/1200MHz はアマチュアバンド使用区分を準用する。

呼出 ○県内局 (電信) CQ WK TEST IN DE J*3***

(電話) CQ 和歌山コンテスト こちらは県内局 J*3***

○県外局 (電信) CQ WK TEST DE J*7***

(電話) CQ 和歌山コンテスト こちらは県外局 J*7***

交信の相手局 県内局=国内全域 県外局=和歌山県内局のみ

コンテストナンバー 県内局 RS(T)+市・郡ナンバー

県外局 RS(T)+都府県支庁ナンバー

得点 1 交信を 1 点とする。SWL は和歌山県内のみを 1 点とする。ただし

同一バンド内での重複はモードが異なっても得点としない。

マルチプライアー ○県内局=各バンドごとに都府県支庁(和歌山県を除く)および
和歌山県内の市郡を 1 マルチとする。

○県外局=各バンドごとに和歌山県内の市郡を 1 マルチとする。

総得点 得点合計 x マルチ合計

提出書類 JARL コンテストログおよびサマリー、またはそれと同一と見なし得る書式とする。

締切 4 月 30 日(月)消印有効

提出先 〒641-8691 和歌山南郵便局私書箱 1 号 JARL 和歌山県支部コンテスト係

E-mail : wk-test24@goo.jp

問合せ 上記と同じ

賞状 各部門、種目別にエントリー数が 5 局以内は 1 位のみ。6~10 局は 2 位、11 局以上は 3 位まで賞状を発行する。

禁止・その他 ○JARL コンテスト規約に準じる。

○ エントリーは個人局は 2 種目以内、社団局は 1 種目以内とする。

ただし 2 種目とは HF 帯(1.9~28MHz)と V・UHF 帯 (50~1200MHz)で各 1 種目。

同一個人が個人局や社団局など 2 以上のコールサインを、使用してのログ提出は認めない。

○ 和歌山県内局はマルチバンドで運用し、シングルバンドにエントリーできる。

○ 和歌山県内登録クラブ構成メンバーは、提出書類に登録クラブ名を記入すること。

○ コンテスト結果が必要な方は、長形 3 号の封筒に 90 円切手を貼った SASE を同封して下さい。

○ 移動局に対して、移動した事実を証明できるもの(宿泊先の領収書、当該地域での買い物の領収書、移動地で撮影した日付入の写真など)の提出を求める場合があります。また、サマリーで移動先の記載は単に市郡名の記載ではなく、**市**山、山頂付近などの具体的地域の記載をお願いします。

○ 副賞の「和歌山県特産品」はエントリー数、得点などにより、県内の部・県外の部ともに入賞 10 個程度+特別賞 1 個程度。

○ <電子ログで提出される場合のお願い>

電子ログは JARL Web に記載の電子ログ作成ツール(最新版)に従うこと。

ウイルス対策上から原則として添付ファイルは受け付けない。

件名欄は「WK-TEST+貴方のコールサインまたは準員番号」、送信者名は「氏名」または「コールサイン」を正しく名乗り悪戯と紛らわしい送信者名は使用しないで下さい。

(悪戯と紛らわしい送信者名は使用しないこと、迷惑メールで削除されても責任は持ちません。)

メールで提出時 1 部門 1 メールとし 2 部門を同一メールで送付しないで下さい。

和歌山アワード規程

2010-1-1 現在

下記のように和歌山県内の市郡町村から各1枚のQSLカードを取得する。

1. Excellent 賞 30市町村
2. A賞 9市
3. B賞 6郡
4. C賞 20町
5. D賞 1村

特記 : シングルバンド・シングルモードのみ特記する。

申請方法 : JARL 制定のアワード申請書およびカードリストを使用し、手数料を添えて申請すること。

SWL および外国局にも発行する。

(申請者の自己申告のみで良く、証明者は必要としない)

また、和歌山コンテストにおいて当該市郡町村と QSO したが、その QSL カードを取得出来ない場合、事実関係をコンテスト委員会が確認出来るものについては当該 QSO を認めるので申請先へ問い合わせること。

但し、最近の5年以内に限る。(5年経過後は JARL 文書管理規定で廃棄のため)

手数料 : 郵便小為替にて1賞のみは500円。

複数賞を同時に申請する場合は2賞目以降の1賞につき300円ずつ加算する。

外国局は1賞につき5IRCとする。

その他 : 市町村名の変更や増減が行なわれた場合は、それらの施行日を以って本規定も改定されたものとする。

: 申請者が移動して運用した場合は、その移動の範囲は、同一コールエリア内とする。

: 和歌山アワードは平成22年1月1日よりの受付分から、クラス別の新デザインです。

申請先 : 〒641-8691 和歌山南郵便局私書箱1号 JARL 和歌山県支部アワード係

問合せ先 : 申請先に同じ (SASEに限る)

電子メールの場合は、 jr3eqg@jarl.com または ja3eqc@jarl.com

発行者 : JARL 和歌山県支部

『和歌山アワード規定』に述べている、現存する和歌山県内の市郡町村とは下記の通りです。

【市】 和歌山市 : 新宮市 海南市 田辺市 御坊市 橋本市 有田市 紀の川市 岩出市

【町】 有田郡 : 広川町 湯浅町 有田川町

伊都郡 : 九度山町 かつらぎ町 高野町

海草郡 : 紀美野町

西牟婁郡 : 上富田町 白浜町 すさみ町

東牟婁郡 : 古座川町 太地町 那智勝浦町 串本町

日高郡 : みなべ町 由良町 印南町 日高町 美浜町 日高川町

【村】 東牟婁郡 : 北山村

今後も引き続いて平成の合併が予定されていますが、これに伴う和歌山アワードの申請条件を下記の通り明確にしておきます。

JARL 発行の WACA および WAGA 方式を採用します。 即ち、各賞毎に最終交信時点において現存する市・郡・町・村を有効とし、消滅した市・郡・町・村は無効とする。

また、申請に際して JARL が制定している市・郡番号(JCC および JCG ナンバー)を使用することは差支えないが、ハムログなどが制定している町・村番号・記号は JARL として認めていないので、町・村名をその併記入して下さい。

アワード発行状況

平成23年1月1日～12月31日

	番号	Call	氏名	特記
Excellent賞	85	JL7SNM	浮嶋 伸	7MHz-SSB
	86	JA3HTE	泉 節雄	7MHz-CW
	87	JH5GEL	横山 太郎	7MHz-SSB
	88	JA7HPO	桐田 義雄	7MHz-SSB
A賞	215	JK3JTJ	和田 弘行	
	216	JG1LGB	本田 益一	7MHz-SSB
	217	JA7FDA	鈴木 正悟	
	218	JF3QUE	丸山 泰生	7MHz-SSB
B賞	172	JK3JTJ	和田 弘行	
	173	JG1LGB	本田 益一	7MHz-SSB
	174	JA7FDA	鈴木 正悟	
	175	JN1AUQ	小堀 光敏	7MHz-SSB
	176	JH2PSS	梅澤 啓一	7MHz-SSB
C賞				
D賞	27	JG1LGB	本田 益一	7MHz-SSB
	28	JA7FDA	鈴木 正悟	7MHz-CW
	29	JH2PSS	梅澤 啓一	7MHz-SSB
	30	JA1BAA	内田 雄三	7MHz-SSB

JARL和歌山県支部登録クラブ一覧

平成23年6月10日

クラブ名称	登録番号	代表者名	CALL	電話番号	jarl.com
はまゆうアマチュア無線クラブ	26-1-1	古久保恭一	JA3CHT	0738-22-6955	◎
有田アマチュア無線クラブ	26-1-2	岩崎好宏	JA3CF	073-432-1298	◎
和歌山虎伏アマチュア無線クラブ	26-1-3	伊藤嘉計	JA3ESL	-	-
潮岬ハムクラブ	26-1-17	矢野幸弘	JP3BNK	-	-
紀州路田辺ハムクラブ	26-1-18	鈴木博雄	JA3RPY	0739-72-2062	◎
桐蔭高校アマチュア無線クラブ	26-2-2	梅本教正	JA3WRV	073-426-0118	◎
和歌山葵クラブ	26-4-1	廣井五十二	JA3EQC	073-445-2889	◎
紀南ハムクラブ	26-4-4	立花 昇	JR3XKN	0735-21-2321	◎
和歌山クラブ	26-4-6	笹井美秋	JA3BL	073-444-3896	◎
和歌山2mSSB愛好会	26-4-22	田中将夫	JF3NIM	073-482-3202	◎
アマチュア無線南海クラブ	26-4-25	浅井章寛	JA3BFS	073-451-2302	◎

JARL和歌山県支部運営委員名簿

平成22年12月1日改訂

役職名	CALL	氏名	郵便番号	住所	電話番号	jarl.com
支部長	JA3EQC	廣井五十二	641-0036	和歌山市	073-445-2889	◎
副支部長	JF3NIM	田中将夫	642-0001	海南市	073-482-3202	◎
運営委員	JR3KUF	池上和彦	641-0062	和歌山市	073-444-3080	◎
運営委員	JA3WRV	梅本教正	641-0045	和歌山市	073-426-0118	◎
運営委員	JA3DF0	小林嘉弘	641-0011	和歌山市	073-447-1009	◎
運営委員 (会計)	JA3FXB	岡本圭司	642-0022	海南市	073-482-5429	◎
運営委員	JF3IVR	前谷昌男	640-1103	紀美野町	073-489-2079	◎
運営委員	JR3UHK	島村 猛	640-0424	紀ノ川市		◎
運営委員	JE3QZV	片山泰英	641-3122	紀の川市	0736-66-0090	◎
運営委員	JR3EQG	辻村光司	649-0301	有田市	0737-88-5332	◎
運営委員	JR3DTB	尾山考央	649-0004	湯浅町		◎
運営委員	JA3CHT	古久保恭一	644-0002	御坊市	0738-22-6955	◎
運営委員	JG3QEV	川崎紀久男		串本町		-
相談役	JA3BL	笹井美秋	641-0012	和歌山市	073-444-3896	◎
相談役	JH3EZV	勝本 健	640-8482	和歌山市	073-461-3232	◎

JARL和歌山県監査指導委員

平成22年12月1日改訂

役職名	CALL	氏名	郵便番号	住所	電話番号	jarl.com
委員長	JA3DF0	小林嘉弘	641-0011	和歌山市	073-447-1009	◎
委員	JE3GON	池上 賢	646-0003	田辺市	0739-25-5650	◎
委員	JG3QEV	川崎紀久男		串本町		-
委員	JA3BY	加藤明利	640-8303	和歌山市	073-475-4421	◎
委員	JA3FXB	岡本圭司	642-0022	海南市	073-482-5429	◎
委員	JR3KJM	土津田榮一	640-1171	海南市	073-487-0666	◎

<http://www.jarl.com/wakayama/>